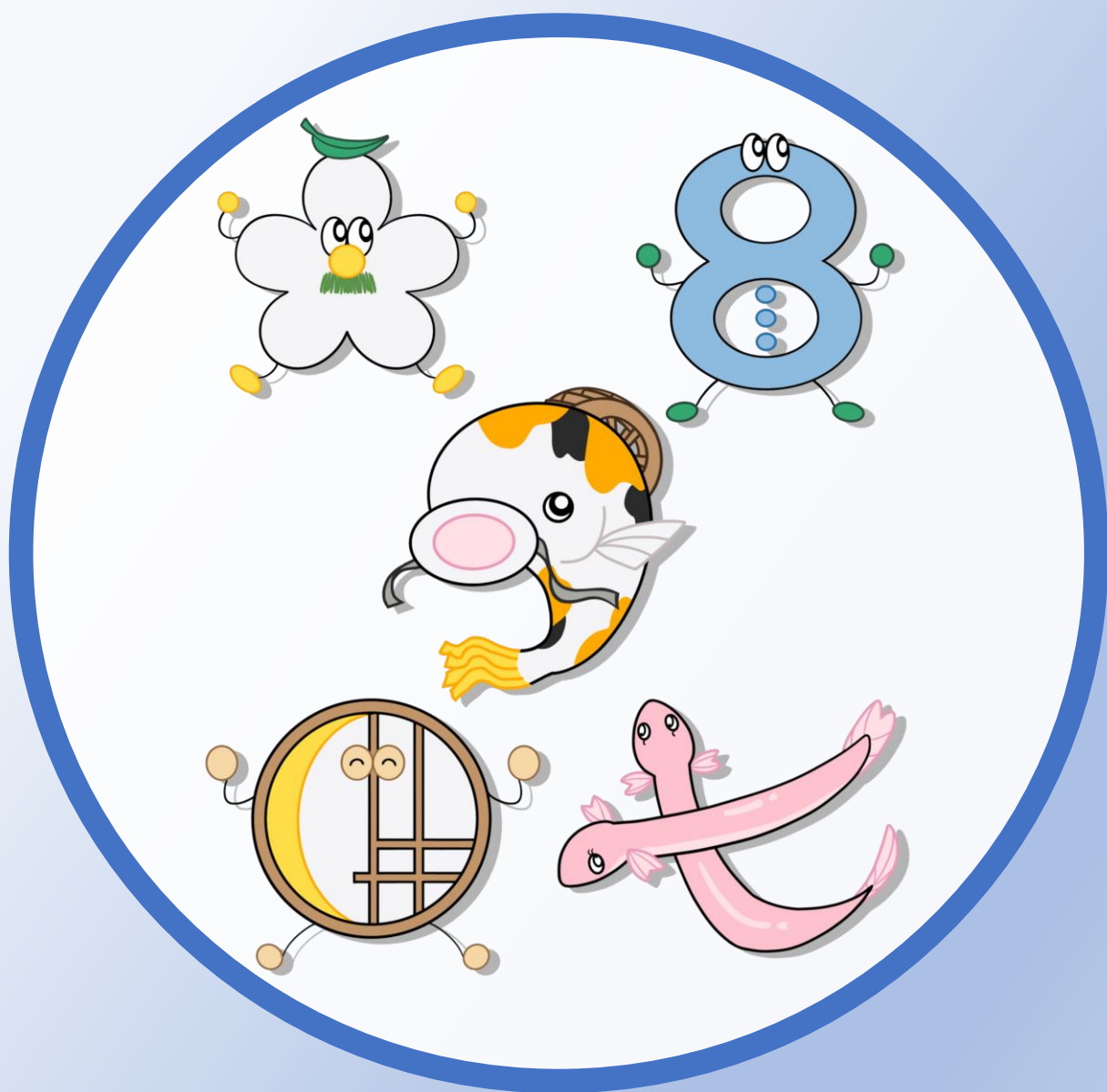
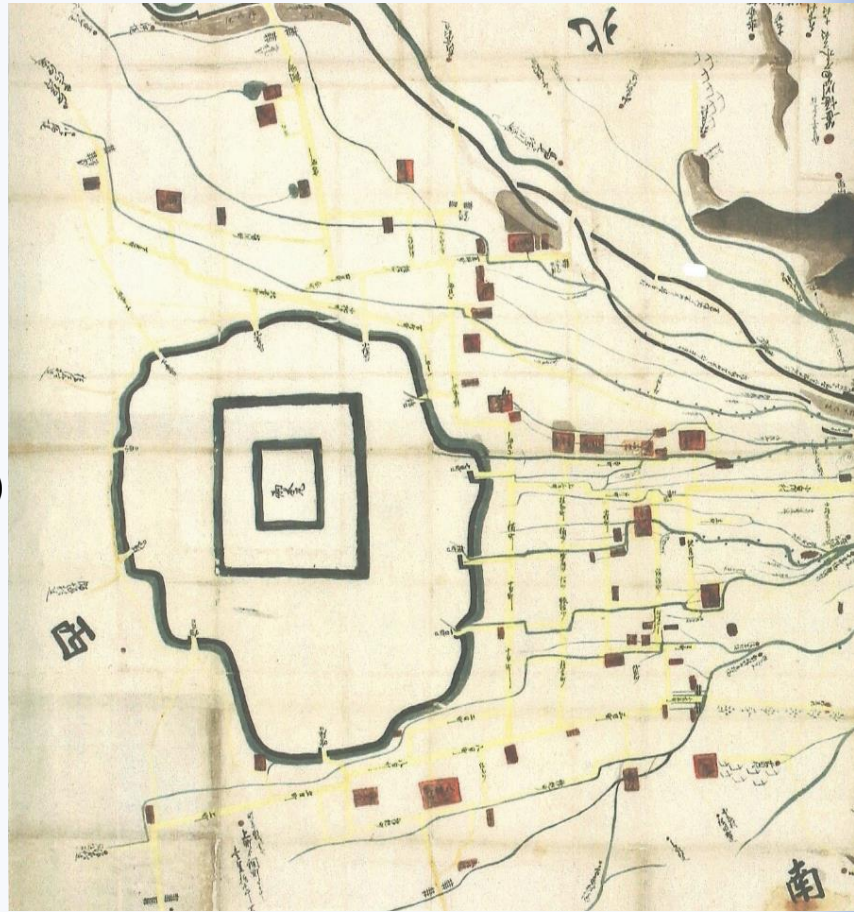


山形五堰 パンフレット



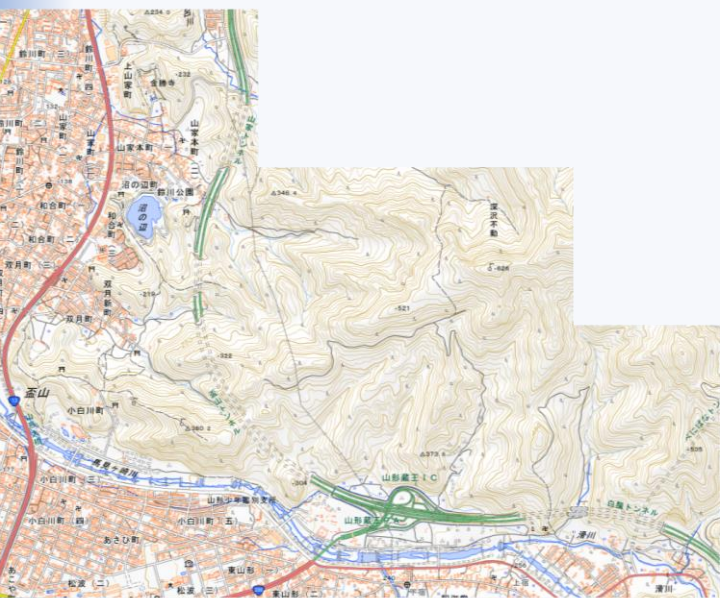
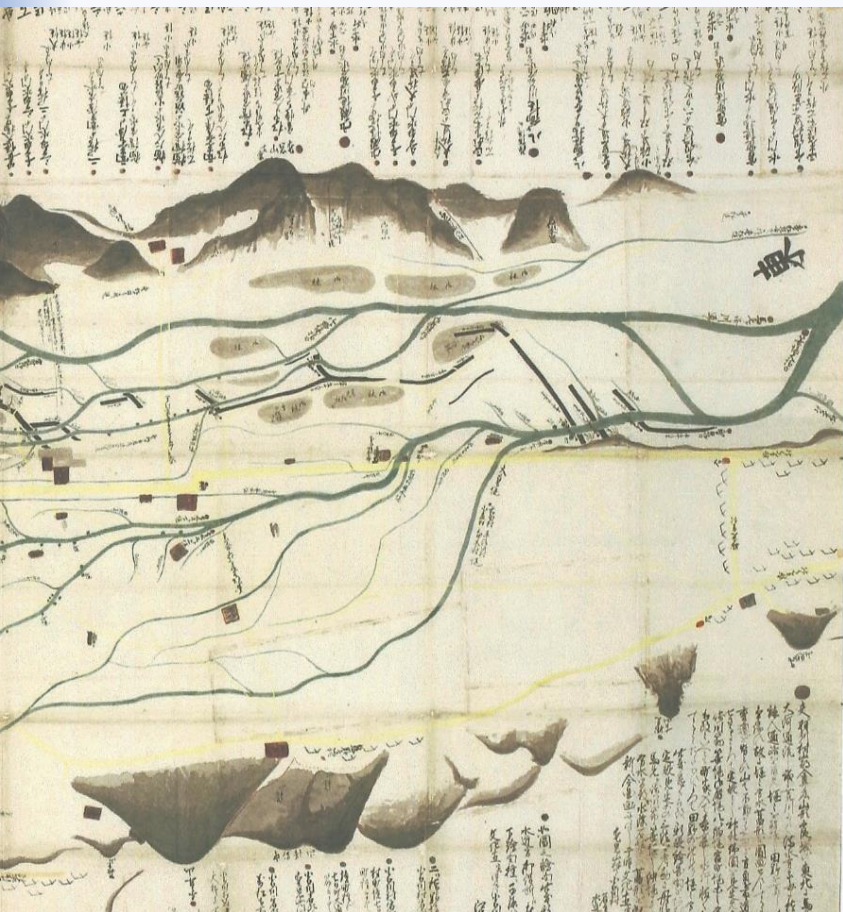
山形五堰まちあるきマップ



山形五堰水路図
(山形市農村整備課提供)



地理院地図



「山形五堰まちあるきマップ」
QRコード



目次

1

- 山形五堰とは.....4
- 五つの堰とゆるキャラ紹介-笹堰、御殿堰、宮町堰、八ヶ郷堰、双月堰-.....5
- 山形五堰の歴史.....11

2

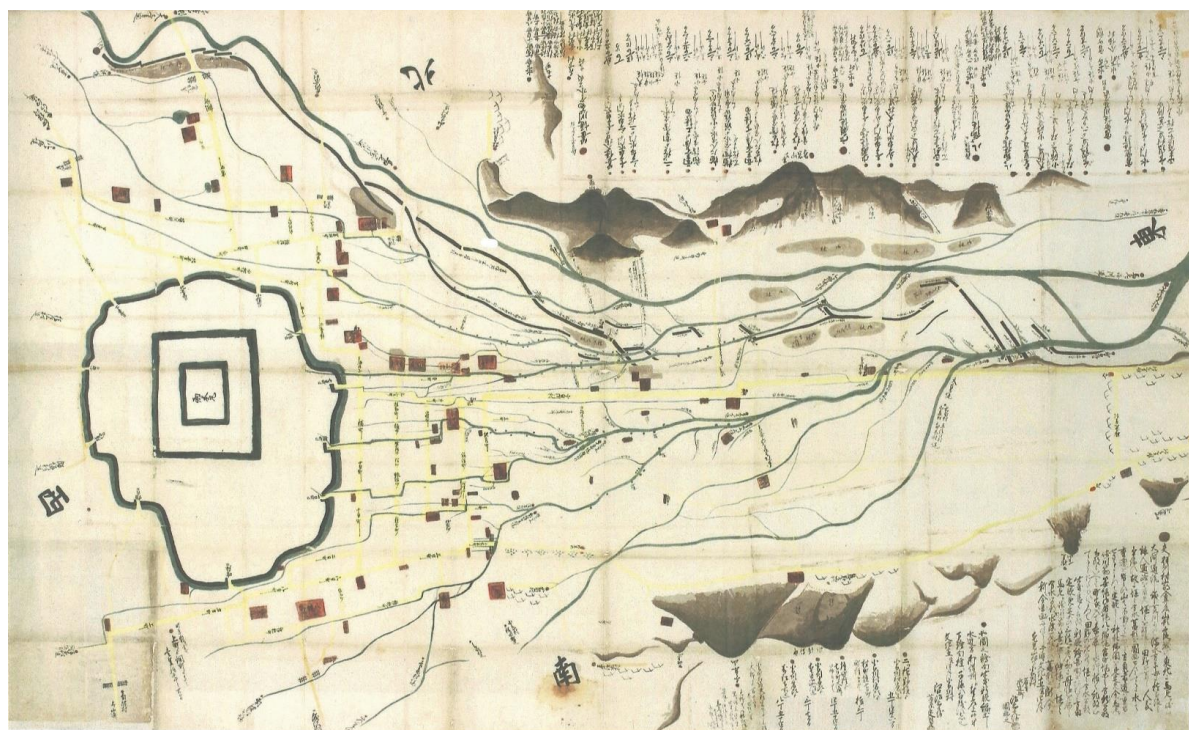
- 山形五堰の梅花藻.....12
- 山形五堰の石積み.....13
- 山形五堰の見どころ紹介.....14

3

- 山形五堰「笹堰の清掃」.....18
- 山形五堰「笹堰を調べる」.....20

山形五堰とは

山形市内を流れる笹堰・御殿堰・八ヶ郷堰・宮町堰・双月堰の五つの堰(=水路)の総称で、江戸時代の1624年(寛永元)に、山形藩の殿様・鳥居忠政が整備したとされているものです。2024年(令和6)でちょうど誕生から400年になります。



※江戸時代の「山形五堰」(山形市農村整備課提供)

五つの堰とゆるキャラ紹介

8月19日に山形大学地域共創STEAM教育推進センター(YU★STEAM)にて、山形市内を流れる「山形五堰」のゆるキャラを作ろう！というイベントが行われました。

「山形五堰」の存在を広く知ってもらえるように、山形大学の学生と小学生がいっしょになって、「山形五堰」のゆるキャラを誕生させました。

歴史学×アート！？

やまがたごせき

「山形五堰」のゆるキャラを作ろう！

山形大学小白川キャンパスの周りには「^{ごせき}五堰」という水路があるのをみなさんは知っていますか？
実は五堰を含む5つの水路 - 「山形五堰」は、来年(2024年)で誕生からちょうど400年になります。
そこで、「山形五堰」の歴史を学ぶとともに、まちの人びとにも「山形五堰」がどのようなものかを広く知ってもらうために、「山形五堰」のゆるキャラを作って、グッズにするイベントを開催します！



講師 小幡 隆太
こばた たかし



公式キャラクターのワック

- ◆ 開催日程：2023年8月19日(土)
- ◆ 開催時間：午前(9時30分～12時00分)
- ◆ 場所：山形大学 SCITA センター
- ◆ 講師：小幡 隆太(山形大学人文社会科学部)
- ◆ 対象：小学4年生～6年生
- ◆ 保護者参加：参加可能
- ◆ 定員：20名
- ◆ 料金：500円

申込は「こちら」！





※グッズは9月10日～18日(土日)限定で開催する「お祭り」(https://cherry.yamagata-u.ac.jp/monohaku/)での頒布となります。
※定員になり次第受付を終了します。
※お申し込みは、お急ぎください。キャンセル料はかかりません。多くのイベント・イベントをご利用ください。

山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター (YU★STEAM)
TEL:023-628-4406(平日9時～17時) | mail:yu-steam@jy.kj.yamagata-u.ac.jp | hp:https://yu-steam.com/



【笹堰(ささぜき)】

笹堰という名前は笹谷街道に沿って流れていたことに由来します。「山形五堰」の中で最も長い47.5kmの堰です。山形大学小白川キャンパスの周りにも流れています。城下町の南部の生活用水・農業用水として利用されました。キレイな水でしか生育しないという梅の花の形をした梅花藻(バイカモ)が笹堰で群生しています。



梅花藻

【笹堰のゆるキャラ】



【名前】梅笹おじさん

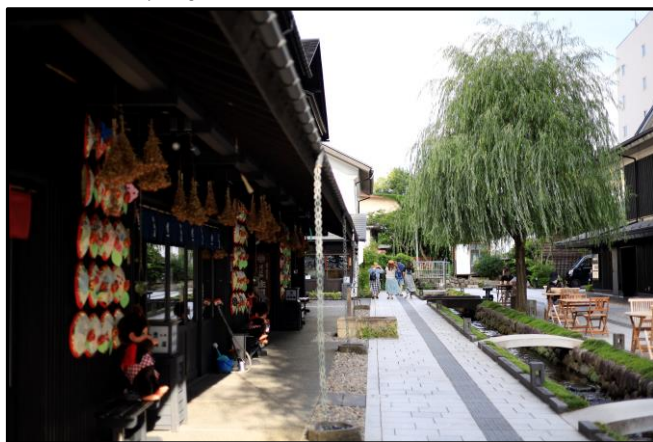
【コンセプト】「梅花藻」

【特徴】

きれいな水にしか、生育しないという珍しい水中花である「梅花藻」のおじさん。ただのおじさん。なんと笹堰にいっぱいいる。

【御殿堰(ごてんぜき)】

御殿堰という名前は山形藩の殿様が住む山形城の堀に注ぐ堰であることに由来します。御殿堰の水を利用した精米・製粉、織物・染物生産、製糸・製紙工場、ウナギやコイの養殖など、さまざまな産業が営まれました。現在は観光地としても注目を集めています。



水の町屋七日町御殿堰

【御殿堰のゆるキャラ】

【名前】 うなな姉妹

【コンセプト】「七日町」「霞城公園の桜」「ウナギ」

【特徴】

御殿堰の水で養殖されたウナギの姉妹。長いほうがお姉さん。七日町の「七」の形をしており、霞城公園に咲く桜と同じピンク色をしている。性格はおだやかでケンカをしない。



【八ヶ郷堰(はっかごうぜき)】

八ヶ郷堰という名前は、船町・中野・陣馬・陣馬新田・吉野宿・江俣(えまた)・鮭洗・内表の8つの村が利用したことに由来します。「六日町堰」という別の名前も存在します。現在の文翔館(旧県庁)が建っている場所にかつて流れていた、馬見ヶ崎川の川筋を利用した用水路です。



文翔館裏の八ヶ郷堰

【八ヶ郷堰のゆるキャラ】



【名前】 八之介

【コンセプト】「八ヶ郷堰の八」

【特徴】

8つの村が利用した八ヶ郷堰の「八」からからだは、8の形をしている。

八之助の好物は雪。冬は、雪をたくさん食べるので身体が大きくなる。

【宮町堰(みやまちぜき)】

宮町堰という名前は、宮町を流れていることから由来します。宮町は鳥海月山両所宮(ちょうかいがっさんりょうしょぐう)という神社を中心に発展した町です。宮町の水を利用して、コイの養殖や水車を利用した製粉が行われました。場所によってはホタルが生息しています。



酒井製麵所の水車

【宮町堰のゆるキャラ】

【名前】 宮町めんこい

【コンセプト】「コイ」「製粉業(そば、ラーメン、水車)」

【特徴】

宮町堰の水で養殖されたコイ。宮町堰では水車を利用した製粉業が盛んだったことから、背びれは水車、ヒゲはそば、尾びれはラーメンになっている。そばとラーメンをよく食べる。「めん」と「コイ」をかけて「めんこい」となった。



【双月堰(そうつきぜき)】

双月堰という名前は、双月村に設けられたことに由来します。双月村を含む鈴川地区は、馬見ヶ崎川の豊富な水を利用した紙漉きが有名で、中大奉紙・小杉紙・唐傘紙・障子紙などさまざまな紙を生産したほかに、麴業(みそなどを作る仕事)も盛んでした。明治時代以降は養蚕業も盛んになりました。



双月堰

【双月堰のゆるキャラ】

【名前】 障子の障ちゃん

【コンセプト】「障子紙」「大豆」「双月堰の月」

【特徴】

からだは、双月堰が設けられた双月村で作られた「障子紙」で出来ている。からだの左には「月」が見える。双月村がある鈴川地区では、みその生産が盛んであったため、目と手足は「大豆」になっている。水に濡れて破れてしまった障子紙は、みそを食べることによって復活する。



山形五堰の歴史

現在文翔館のある場所は、江戸時代にはどのような土地だったか知っていますか？ その北を流れている馬見ヶ崎川は、江戸時代の最初の頃は文翔館のあたりを流れていたのです。そして、馬見ヶ崎川はたびたび洪水を起し、城下町山形をたびたび水浸しにして人びとの生活を困らせていました。

そこに登場してきたのが鳥居忠政です。鳥居は戦国時代の武将で三河国(現在の愛知県)の出身、戦国大名・徳川家康の家臣として活躍した人物です。1600年に父・元忠の後を継ぎ、矢作藩(現在の千葉県)、次いで磐城平藩(現在の福島県)の殿様となります。1622年には山形藩(現在の山形県)の殿様となり、仙台藩の伊達政宗の監視役を任されるほど、信頼されていました。

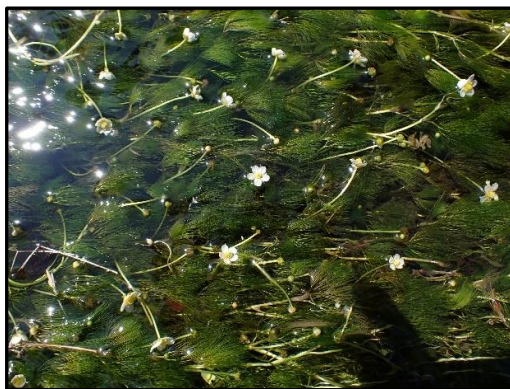
1623年(元和3)、5日間の大雨によって馬見ヶ崎川が大洪水になります。忠政は城や町を守るために馬見ヶ崎川の流れを現在の流れに変更しました。さらに、住民たちが困らないように、5つの堰を作り、そこに馬見ヶ崎川の水を引いてくることにより、生活用水・農業用水として利用できるようにしました。これが、「山形五堰」の始まりです。



鳥居忠政

ちなみに馬見ヶ崎川の名前の由来は諸説ありますが、鳥居忠政が川(当時は白川と呼ばれていました)の流路の変更する工事を、馬に乗りながら陣頭指揮をとっていたからという説があります。

山形五堰の梅花藻



バイカモ(キンポウゲ科) *Ranunculus nipponicus*
var. *submerses*

【準絶滅危惧(NT):山形県版レッドデータブック】

浅い清流に生える日本固有の多年草。和名は漢字で「梅花藻」と書き、細く切れ込んだ葉をつけ、夏になると梅のような白い花を水上に咲かせる。藻のような見た目をしているが、私たちが普段見ている陸上植物と同じ仲間である。

かつては笹堰を中心として広く分布していたと考えられるが、濁水の影響などによって、現在では最上流部や小白川町の一部など、ごくわずかな場所で見ることができなくなってしまった。山形県内の一部地域では、茎葉をお浸しにして食べることもあったようだが、数が少なくなった今は、見つけても採らずにそっと見守ってほしい。



ハグロトンボ(カワトンボ科)
Atrocalopteryx atrata

バイカモのような水生植物の生えたゆるい流れを好み、翅が黒く、蝶のようにひらひらと優美に羽ばたく。五堰では普通に見られる。

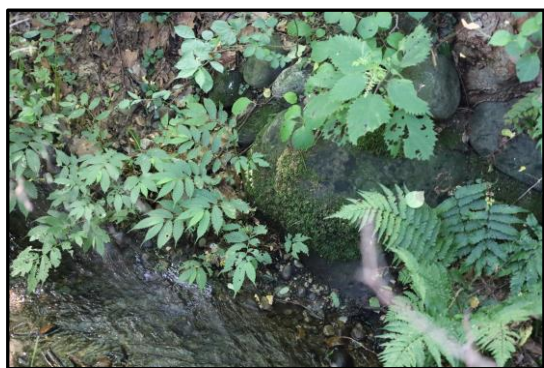
山形五堰の石積み

山形五堰の魅力のひとつとして、情緒ある石積み風景があげられる。山形五堰の積みには複数種類あることを皆さんはご存じでしょうか？寛永元年(西暦1624年)の五堰施工当時の石積みが笹堰上流に残っている。

平成14年(西暦2002年)にもとの堰の位置はほとんど変えずに改修された。これは山形五堰が生活用水や地下水涵養のような本来の機能に加え、街の景観づくりとして期待されたためである。丸みを帯びた石を用い、隙間をコンクリートで充填している。

長い年月を経て堰の水で削られたかのような見た目は、山形五堰の400年にわたる長い歴史の象徴となることともに住民のやすらぎの場としても機能している。残念ながら現在は堰内に植生が発達しており、美しい景観が見られない現状も報告されている。近隣住民との協力で情緒ある景観をもった山形五堰を復活させ、より素敵なまちになることを願っている。

参考文献 阿古島功「山形市笹堰の原風景—山形の景観の考古学(2)—」(『山形大学歴史・地理・人文学論集』第3号、2002年)45～58頁



施工当時からあるとされる石積み
(笹堰・上流部)

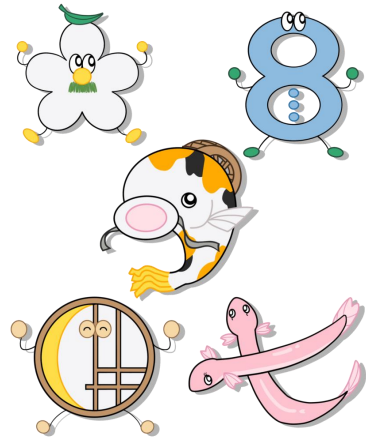


改修された石積み
(笹堰・山形大学周辺)

山形五堰の見どころ紹介

山形大学「まちの記憶を残し隊」は2023年8月11日に山形市農村整備課主催の「山形五堰見学会」に参加しました。見学会で訪れた場所から山形五堰の見どころを紹介します！

【馬見ヶ崎川合頭首工】

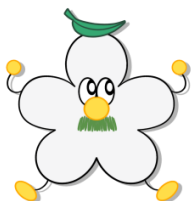


馬見ヶ崎川合口頭首工は、山形五堰の最上流に位置する場所です。頭首工では、山形五堰と山形市街地西部に広がる田畑で使う水を取り入れています。そのため、頭首工は大量の水で満たされ、涼しげな雰囲気を楽しむことができます。

【笹堰 最上流】



笹堰最上流の場所は草木が生い茂っており、そこに流れる笹堰の水の音も相まって夏でも涼しく感じられる場所となっています。そのような笹堰の最上流部で見どころとなるのはその植物！流れる水！だけでなく、笹堰を形作っている石なんです！



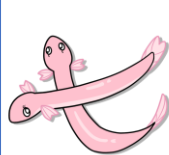
この笹堰を含む山形五堰は約400年前に造られたとされていますが、この最上流部にある石はその当時のものだと言われています。つまり約400年もの歴史を持ち、長い間、笹堰としての仕事を果たしている石なんです！

【御殿・八ヶ郷親水広場】



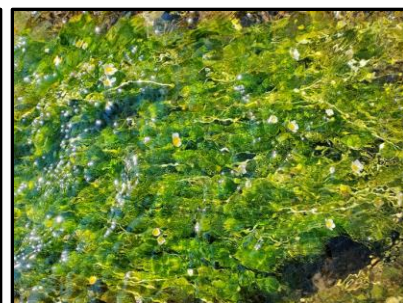
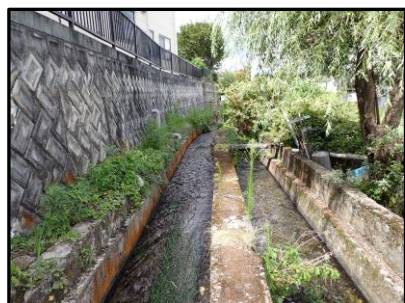
御殿・八ヶ郷親水広場は、山形五堰の水を利用して水遊びなどができるように整備した広場です。山形五堰は農業用水路としての役割以外にもさまざまな形で私たちの生活に関わっています。

上記のような親水機能に加え、火災発生時の防火用水機能、石積水路から水を地下に浸透させる地下水涵養機能、水辺の生物を守る生態系維持・保存機能です。これらの機能を合わせて「地域用水機能」と呼んでいます。



また、この親水広場に松が多く植えられているのは、山形五堰を造った際に地面を強くするためという話もあり、その話を彷彿とさせるような立派な松もこの広場で見ることができます。

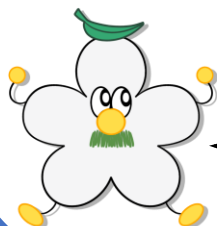
【笹堰 生長の家前(バス停)付近】



山形五堰のなかで大きな魅力の1つが、山形県で準絶滅危惧種に指定されている梅花藻です。その梅花藻が特に集中しており、初夏にはその様子を見ることができるのがこの場所です。

梅花藻の特徴のひとつである、ウメのような白い花を水上で咲かせているところを間近で見することもできます！

しかしながら、この梅花藻は清流でしか生息できないとされています。梅花藻をさらに広い地域で見られるように山形五堰を大切にしていきたいでしょう。



昔は、ホタルもいっぱいおったのう

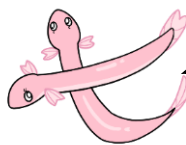
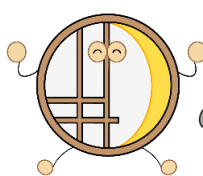
【小白川第一分水工】



小白川第一分水工で、馬見ヶ崎川から取水した水が双月堰(左)、宮町堰・八ヶ郷堰(中央)、御殿堰(右)に分水される場所です。

付近には「天之水分神」と昭和一三年旧五月二十一日に八ヶ郷

堰で水車業を営んでいた人々に建てられた石碑があります。



あれ？梅笹おじさんがいない…？

【双月堰 山形大橋下(国道13号線)】

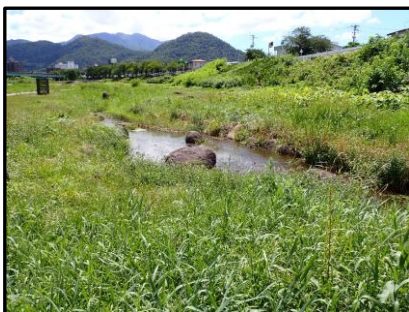


国道13号線沿いに位置する双月堰では水が絶え間なく流れており、水辺にはハグロトンボなど多様な生物が生息しています。流れる水の音や多様な生態系によって、訪れた方はきっと癒されることでしょう。

生き物いっぱい！



【宮町堰 旧取水口】



山形五堰の水は、宮町堰旧取水口を通して住宅街の細い水路まで絶え間なく流れています。近くには大正4年に作られ、平成4年に復元された宮町堰の銘板も存在しています。



昔は、ここから宮町堰に水を取り入れていたんだ。

【小白川第二分水工】

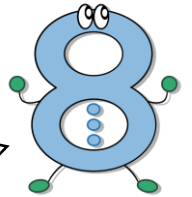


宮町堰から八ヶ郷堰に分水するための施設です。



お水どうぞ！

わーい！
ありがとう！



【御殿・八ヶ郷堰 第八小学校北側】



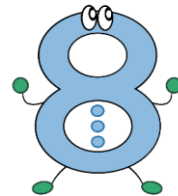
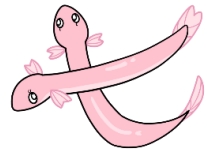
第一分水工を下ると、分水した八ヶ郷堰(右)と御殿堰(左)が同時に見られるスポットがあります。見学会では、八ヶ郷堰では途中から水が流れておらず雑草が生い茂っていたが、反対側の御殿堰では水が流れており、梅花藻も見ることができました。



御殿堰



八ヶ郷堰



...

どうでしたか？山形五堰には長い歴史があり、山形市に暮らす人々に400年もの間、めぐみをもたらしてくれていますね。

これからも山形五堰を大切にしていきたいですね！



山形アーカイブでは、ここで紹介しきれなかった「山形五堰」の見どころを公開しているぞ。チェックじゃ！

「山形アーカイブ」
QRコード



山形アーカイブ

<https://cherry.yum-archives.net/yamagata-archive/>

山形五堰「笹堰の清掃」

私たち、山形大学「まちの記憶を残し隊」の活動には、まちの記憶を残すことのほかに、地域の環境を守る「笹堰清掃」というものがあります。

「山形五堰」の一つである笹堰は山形大学小白川キャンパスを囲むように流れています。笹堰には、梅花藻が群生しているという特徴があります。かつて山形大学の周りの笹堰には梅花藻が生えていましたが、今では見られません。見られなくなった原因は水質や水量、水が絶えず流れているかなど様々ありますが、梅花藻がまた生えるように、笹堰をキレイにしようと笹堰清掃をしています。



笹堰の梅花藻



笹堰清掃の様子(2023年8月2日)

私たちの笹堰清掃は、山形大学小白川キャンパス周辺の笹堰にゴミがたくさん落ちている状況に、学生と教員が、「どうにかしたい」という思いから山形市農村整備課さんに清掃の申し込みの連絡をしたことからはじまりました。

現在では、山形市の山形五堰環境保全モデル事業の一環として、小白川キャンパス周辺の笹堰清掃、管理を行っています。このモデル事業は、「かんがい用施設」として、降雨時の「雨水排水施設」として、「観光用施設」としてなど様々な側面を持つ「山形五堰」を、山形市役所と市民が協力して、五堰の保全活動に努め、さらに五堰への関心を深めてもらおうというものです。

2023年8月に行われた清掃の際には30℃を超える厳しい暑さのなか、熱中症に注意しながら、残し隊の隊員と顧問がいっしょになって2日間にわたり、人の背丈ほどであろうかという、生き生きとした雑草の刈り取り作業をしました。



BEFORE



AFTER

青々と生い茂る雑草と格闘している中で、地域の方から応援の声をかけて頂いて、地域と五堰とのつながりを認識することができました。今後も笹堰の清掃活動を継続的に行っていき、笹堰の良好な環境の保全に努めるとともに、大学内外問わず五堰への関心をさらに高めてもらえるような活動を行っていきたいを思います。

山形五堰「笹堰を調べる」

山形大学「まちの記憶を残し隊」と山形大学「生物学研究会」の共同研究「笹堰を調べる」という「文理融合型笹堰環境再生プロジェクト」が、山形大学「データサイエンス教育・研究連携活動助成」に採択されました。

今後は、笹堰を中心に「山形五堰」の環境について研究していきます。

「笹堰を調べる」(笹堰の生物相調査と保全活動)

笹堰は歴史の古い水路であるため、他では見られなくなった生き物がまだ生き残っている可能性があります。実際、一部の場所では、バイカモの生育が確認されています。

私たちはバイカモが生育できる環境を整え、バイカモが消えた場所にも再び可憐な白い花を咲かせることを目指していきます。



梅花藻

一方で、五堰の中では生態系に大きな被害を与えるような外来植物の生育も確認されています。五堰は網の目のように分岐しているため、一度外来種が侵入すると急速に拡散・定着していくおそれがあるといえます。



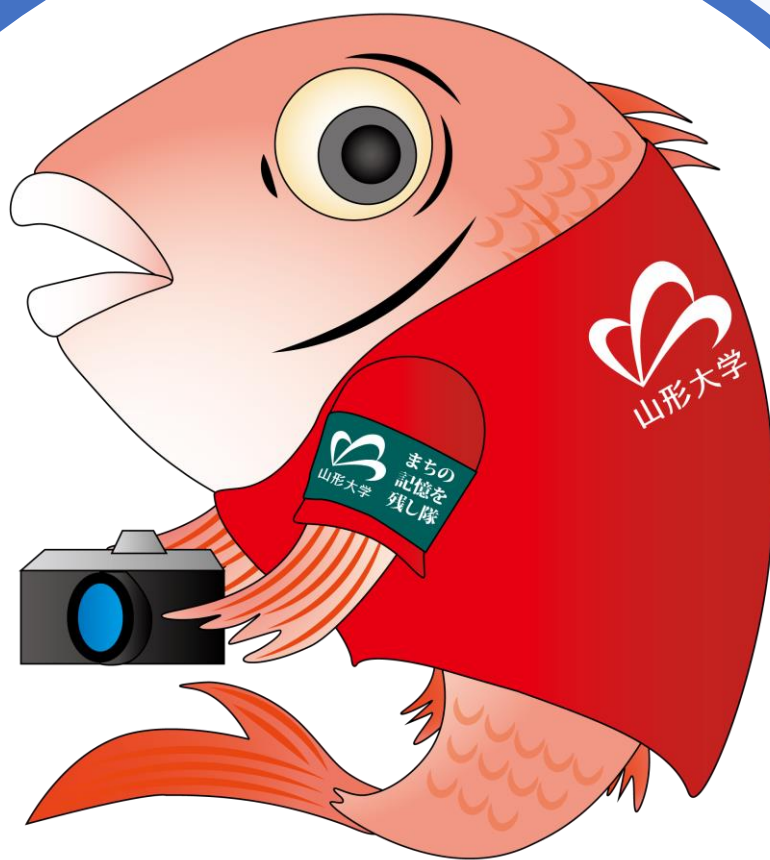
[写真説明]北アメリカ原産のオオハンゴンソウ。綺麗な花だが、環境省の特定外来生物に指定されているため、持ち帰って庭に植えたりしてはいけません。(撮影:笹堰)

今後、バイカモが生育している笹堰を中心として、どのような生き物がいるかを明らかにして、希少な生き物の保全や外来種の駆除につなげていきたいです。



山形五堰パンフレット

- 発行日 : 2023年9月10日
- 著者 : 田辺稔英、高橋怜華、小幡圭祐、
樋口真人、矢口朔子、鈴木淳太、
鈴木琉星、片桐悠輔
- イラスト : 芳賀日和 (山形五堰ゆるキャラ担当)
- 発行者 : 田辺稔英
- 発行所・印刷 : 山形大学「まちの記憶を残し隊」
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
- Mail
machinokiokuwonokoshitai@gmail.com



「隊のおかしら」